# 平成30年度 在宅医療・介護連携事業について

- 1 多職種連携について
  - (1) 医療と介護の連携のための研修等の実施
    - ① 市内全域を対象とした多職種研修(5/19、7/10) 他職種への理解を深め、市内全域での顔の見える関係づくりや在宅医療の現場の状況を学ぶ
    - ② ハートネットホスピタル体験会(7/25、11/28) 医師や歯科医師、ケアマネなどを対象に、タブレットを使用した体験型研修
    - ③ ケアマネジャーのための在宅療養セミナー(6/12、9/11) 医療分野を一般的に不得手とするケアマネジャー向けの医学講座
    - ④ 医師・ケアマネ合同シンポジウム(7/21) 高齢者介護に携わる医師と介護支援専門員が集う場で、「いいがいネット」の活動を周知
    - ⑤ 金沢市在宅医療・介護連携支援センター「いいがいネット」開設1周年記念講演会(12/1) 講師:川越正平氏(あおぞら診療所院長)
    - ⑥ 在宅医育成研修(金沢市医師会と調整中) 在宅医療に関する座学研修と在宅診療をする医師に同行する実地研修
    - ⑦ 医療連携グループによる多職種研修
  - (2)「入退院時の医療・介護連携指針」の周知

病院・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション・各職能団体等に 配付するほか、「いいがいネット」ホームページに掲載

(3) 医師とケアマネジャー等のスムーズな連絡体制の整備

ケアマネジャー等が医師と直接話し合える曜日や時間帯を設定する「ケアマネタイム」を まとめ、一覧を作成し「いいがいネット」ホームページに掲載

(4) 在宅医療・介護の連携に関する相談支援

金沢市在宅医療・介護連携支援センター(いいがいネット)にて医療、福祉、介護関係者からの 在宅医療に関する相談に対して、必要な情報提供、支援を実施

#### 【相談内容】

- ・ケアマネジャーから市内各エリアの訪問診療・訪問看護・介護サービス事業者の紹介依頼
- ・市外の病院関係者から金沢市内の病院に関する問い合わせ(回復期リハビリテーション病棟など)
- (5) 石川中央医療圏の医療・介護連携窓口との連携

訪問や情報提供等を通じた情報共有の推進

#### 2 市民への普及啓発について

(1) 小学校下単位での在宅医療地域出前講座の実施(平成29年度~)

今年度より地域の薬剤師からの「かかりつけ薬剤師」についての説明を追加

開催日	地区	参加者数	開催日	地区	参加者数
5月9日	小立野	61名	6月16日	菊川	45名
6月6日	新竪町	31名	7月27日	川北	
6月13日	芳斎	36名	9月28日	浅野町	

※順次開催予定

(2) かかりつけ医等を持つことの周知

高砂大学校の講座内で、「いいがいネット」コーディネーターが説明

- (3) 金沢市医師会との共催による市民公開講座の実施(調整中)
- (4) 医療連携グループによる地域住民への普及啓発

平成30年度 第 1 回 金沢市介護保険運営協議会

平成30年8月7日

資料4

#### 平成30年度 在宅医療・介護連携推進事業一覧表

事業項目		事業内容		
ア	地域の医療・介護の 資源の把握	・各職能団体で公開している既存の資源情報サイトにアクセスするポータルサイトの運営 ・在宅医療・介護連携に関連するイベントカレンダーの管理 ・インフォーマル情報の収集 ・「ケアマネタイム一覧」の作成と周知		
1	在宅医療・介護連携の課題の 抽出と対応策の検討	・金沢市在宅医療・介護連携推進協議会(第1回7月27日開催、第2回2月開催予定) (適宜、作業部会会員より意見収集) ・「入退院時における医療と介護の連携状況」調査の実施 ・地域包括支援センターを対象とした「在宅医療と介護の連携に関するアンケート」の実施		
ゥ	切れ目のない在宅医療と介護の 提供体制の構築推進	・金沢市全域を対象とする多職種研修の実施 ・「入退院時の医療・介護の連携指針」の周知 ・「ケアマネタイム一覧」の作成と周知(再掲)		
ェ	医療・介護関係者の 情報共有の支援	・ハートネットホスピタル体験会の実施 ・「入院時情報提供書」様式を「いいがいネット」ホームページに掲載		
オ	在宅医療・介護連携に関する 相談支援	・「いいがいネット」において、関係者からの相談に対応 ・「いいがいネット」の業務について、様々な機会をとらえ周知		
カ	医療・介護関係者の研修	・金沢市全域を対象とする多職種研修の実施(再掲) ・各職種(医師、ケアマネ)向け研修の実施 ・ハートネットホスピタル体験会の実施(再掲) ・医療連携グループによる研修の実施		
+	地域住民への普及啓発	・小学校下単位での地域のかかりつけ医・薬剤師による地域出前講座の実施・金沢市医師会との共催による市民公開講座の実施・医療連携グループによる普及啓発		
þ	在宅医療・介護連携に関する 関係市区町村の連携	・石川県による県全域の研修会や事例検討会への参加 ・石川中央医療圏の医療・介護連携窓口との連携		

## (参考) 厚労省が示す在宅医療・介護連携推進事業の事業項目と取組例

### (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能 を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目 (在宅医療の取組状況、医師の相 談対応が可能な日時等)を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



## (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携パス等の活用 により、医療・介護関係者の情報共有を 支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも 活用

#### (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と 対応策の検討

◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を 開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、 課題の抽出、対応策を検討

## (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の 構築推進

◆地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅 医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

# (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディ ネーターの配置等による、在宅医療・介護連携 に関する相談窓口の設置・運営により、連携の 取組を支援。

# (カ) 医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を 通じ、多職種連携の実際を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催

# (キ) 地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象に したシンポジウム等 の開催
- ◆パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関するのである。
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催



- (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区 町村の連携
- ◆同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

(